

イノベーションのための知財戦略

荒井寿光

本調査会は、大学・研究所等の知財戦略の構築・発展に大きく貢献してきました。現在、政府はイノベーション戦略を進めておりますので、本調査会は次のメッセージを出して頂くことが重要だと思えます。

「イノベーション戦略の成果が具体的に上がるかどうかは、知財戦略によるところが大きい。

研究開発をしっかりと進めることが基本だが、それだけでは十分ではなく、そこで創造される成果を知財として、戦略的に保護・活用することが不可欠だ。」

さらに、以下の3点を提案させていただきます。

特許情報を研究開発戦略に活用すること。

現在、関係者の協力の下に進められている「特許・論文情報統合検索システム」を早急に大学、研究所等に普及することが必要です。

このため、説明会などのPR活動を積極的に行う施策を講じて頂きたい。

大学知財本部とTLOを融合すること。

大学知財本部とTLOは別々な経緯で誕生したが、既に多くの実績が蓄積されてきています。今後、知財戦略や産学連携を円滑に進めるためには、両者の一本化・協力関係の強化や人員の見直しも必要だと思えます。

これを迅速に進めるためには、本調査会の下にプロジェクト・チームを作り、客観的に検討したらいかがでしょうか？

知財マインドを持った人材を育成すること。

知財マインドを持った人材の育成が急務です。このため、少なくとも知財本部のある大学の理工系の学部や大学院で知財を単位科目として教えることが有効だと思えます。

毎年度、知財科目の授業内容と受講者数を公表したらいかがでしょうか？